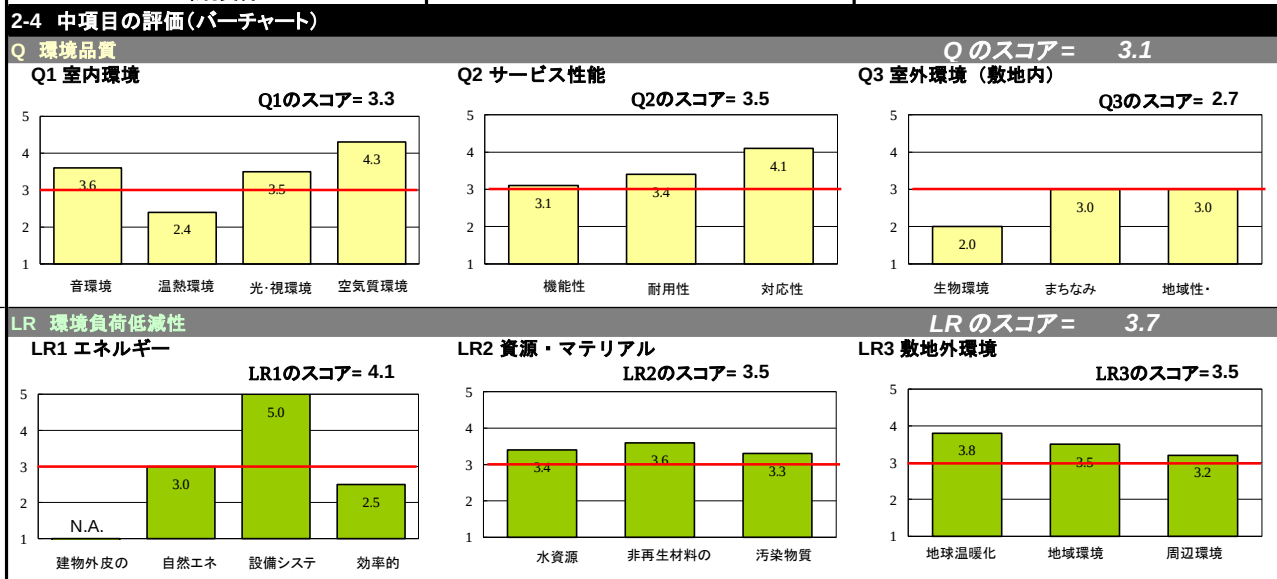
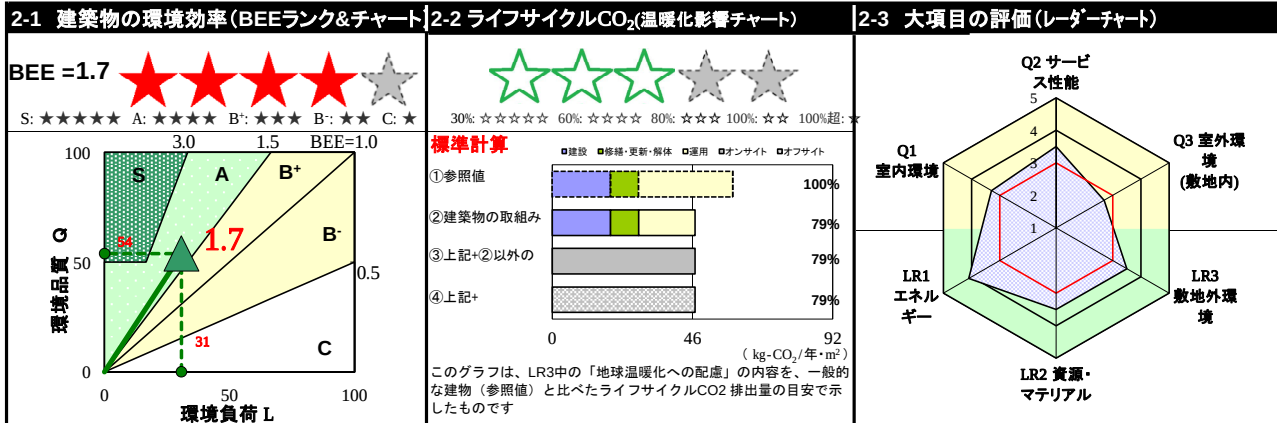


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	読売新聞松原工場新築工事	階数	地上3F	
建設地	大阪府松原市三宅西	構造	S造	
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	28 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	6,700 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2025年7月2日	
敷地面積	10,331 m ²	作成者	清水建設(株)一級建築士事務所	
建築面積	3,313 m ²	確認日	2025年7月2日	
延床面積	5,505 m ²	確認者	清水建設(株)一級建築士事務所	



3 設計上の配慮事項			その他
総合 光環境の側面から、窓面積は屋内環境に必要な最低限の開口部とし、その前面には高木を植えることで、敷地外に直接光が漏れにくいようにも配慮している。建物規模についても、生産機器計画と建物計画を同時に進めることで、必要最小限の高さ・外皮面積に抑えることとした。			-
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)	
昼光率を高めに設定し、また、ブラインドや庇を採用するなど光・視環境に配慮している。また、F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、空気質環境にも十分配慮している。	天井高を高くするなど心理的快適性に配慮している。階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。非常用発電機、無停電電源設備を採用、情報通信設備は通信設備の多様化に配慮している。	駐車スペースを緑化ブロックとするなどして、緑地の多い計画としている。中高木の選定には、この土地の潜在自然植生を文献調査し、それに基づいて樹種を選んでいる。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	
LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。また、消費エネルギー量を把握し、効率的運用に配慮している。	自動水栓や、擬音装置などの省水型機器を用いるなど水資源を保護している。ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。また、OAフロアを採用するなど部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	ライフサイクルCO ₂ 排出率を参照値より削減するなど、地球温暖化への配慮をしている。燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。夜間の稼働も想定し、騒音シミュレーションを行い、敷地外への基準値を超える音が漏れないよう配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		読売新聞松原工場新築工事										
建設地		大阪府松原市三宅西										
用途／区分		工場 事務所										
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A					
①	CO2削減						4					
②	みどり・ヒート アイランド対策						3					
③	断熱性能							評価対象外				
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外					評価対象外				
④	エネルギー消費性能							5				
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分 非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外 					評価対象外 5				
⑤	自然エネルギー直接利用							—				
	再生可能エネルギー		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—			—	
	利用施設の導入状況		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—			—	

	エネルギー消費量の報告						報告しない
--	-------------	--	--	--	--	--	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2. 2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制		
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		